

平成 17 年度「大学教育の国際化推進プログラム(長期海外留学支援)」
申請様式

整理番号	
学校調査番号	

1. 大学の概要

■ 申請区分 1 単独 2 共同

■ 設置形態 1 国立 2 公立 3 私立

■ 大学の名称 _____

■ 大学の所在地 〒 _____

■ 設置者名 _____

■ 学長の氏名 _____

■ 取組み名称(20字以内で)

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

副題名 (_____)

■ 取組み単位 _____

■ 取組み担当者連絡先

所属部局名 _____

職 名 _____

氏 名 _____

電話番号 (勤務先) _____ (携帯) _____

■ 事務担当者連絡先

住所(勤務先) 〒 _____

所属部局名 _____

職 名 _____

氏 名 _____

電話番号 (勤務先) _____ (携帯) _____

FAX 番号 _____

e-mail アドレス _____

(1) 大学の特色 (概要 400字以内)

--

(2) 大学の規模 (平成 17 年 5 月 1 日現在)

学部等名、研究科名または学科名	学科(課程)数、専攻数	収容定員数	在籍学生数	専任教員数	該当学部等
合 計					

*1 教養教育科目、外国語科目等を担当する独立の教育組織がある場合は、適宜記入してください。

*2 「該当学部等」の欄には取組みに該当する学部等に○を記入してください。

2. 取組みについて

(1) 取組みの全体計画について

--

(2) 個別派遣学生の留学計画・研究計画について

--

(3) 取組みの実施日程について

--

(4) 学内等において行った選考会の概要について

--

3. データ・資料等

5. 事業に要する経費

大学改革推進等補助金による補助事業として申請できる経費は、大学改革推進等補助金の遂行に必要な経費に限定されます。（「大学改革推進等補助金（大学改革推進事業）取扱要領」参照）

(1) 平成17年度の補助事業に係る申請予定経費

申請額		申請額の内訳	
		補助金基準額	その他の経費
①+② (千円)		① (千円)	② (千円)
経費区分	金額 (千円)	積算内訳	
[設備備品費]			
[旅費]			
[人件費]			
[事業推進費]			
[その他]			
合計			

(2) 事業全体に係る申請予定額

年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	合計
申請予定額					

(注：提出書類に不備があれば受理されませんので、確認の上、提出すること)

1 願 書 (下記の様式で作成すること。)

提出数：10通 (A4判)

平成17年度大学教育の国際化推進プログラム(長期海外留学支援)願書

ふりがな

①氏 名

ローマ字

②性 別

③国 籍

④生年月日 19 年 月 日 年齢 才

写 真

(5cm × 5cm)

⑤配偶者の有無 (有・無)

⑥在学する大学もしくは大学院の課程、専攻、学年次又は勤務先名：

⑦現住所：(ふりがな、郵便番号、電話番号、ファックス番号、メールアドレスを記入すること。

この申請に関する連絡を現住所以外の場所に希望する場合は、その連絡先も併せて記入すること。)

⑧留学中の日本国内連絡先：

(氏名、続柄、住所、電話番号、ファックス番号を記入すること。)

⑨希望する留学目的の□にチェックすること：□修士の取得、□博士の取得、□アジア諸国等における
専門の研究

⑩留学を希望する派遣先及び大学名：

(希望大学は一つのみ記入すること。大学所在都市名及び最寄りの国際空港名も記入すること。)

⑪留学先への受入に際して求められている語学能力： 点以上(具体的点数が明示されていない場合はその旨を記入すること。)

⑫留学先で専攻する学問分野名及び研究テーマ：

(該当する分野の□にチェックすること。：□人文科学、□社会科学、□自然科学)

学問分野名：

研究テーマ：

⑬留学先での取得学位名：(日本語訳も記入すること)※アジア諸国等において専門の研究を行う
ことを目的とする者は記入不要

⑭本制度による派遣希望期間：平成 年 月 日から平成 年 月 日まで

(希望する渡航期間：平成 年 月 日から平成 年 月 日まで)

※本制度による派遣期間は、平成17年4月1日以降とし、これ以前の派遣期間は受け付けない

⑮学歴及び職歴：(経歴書を別紙1として添付すること。)

⑯留学計画書及び帰国後の進路計画：

(留学計画書は「要約」と「詳細」に区分し、進路計画とともに、別紙2として添付すること。)

⑰留学のために他の奨学金に申請している場合はその奨学金名：

平成 年 月 日

氏 名 _____

署 名 _____

2. 添付書類

(1) 経歴書（別紙1として添付すること）

学歴、職歴、研究の経歴、取得した学位、発表論文、著書等を詳しく記載すること。
（関係年月日を記入のこと。）

なお、代表的論文の抜粋（大部の場合は、要約をA4判2枚程度）を添付すること。

提出数：10通（A4判）

(2) 留学計画書（別紙2として添付すること）

この制度により留学を志望する理由、留学期間中の研究計画について、「要約」と「詳細」に区分し、A4判2枚程度に記載すること。また、帰国後の進路計画（職業、地位等を含む）の概要についても併せて記載すること。

提出数：10通（A4判）

(3) 大学学部以降（大学学部卒業見込み者は出願時点での）の学業成績証明書（単位数、履修科目、点数、評価及びその説明のあるもの。）

提出数：10通（A4判）

(4) 大学学部以降の学業成績の成績評価係数計算書

別紙3の計算式に基づいて「成績評価係数」を算出し、別紙3の書式で提出すること。

提出数：10通（A4判）

(5) 大学学部以降の卒業（修了）証明書（又は見込証明書）

提出数：10通（A4判）

(6) 在学（職）証明書

提出数：10通（A4判）

注）大学に在学もしくは研究機関等に在職していない場合は提出不要

(7) 英語能力証明書

申請締め切り日から過去2年以内に受験したTOEFL（Examinees's Score Record の「写」）もしくはIELTS成績証明書（「写」可）

なお、公募要領（別紙1-1）（3）6）①ウただし書きによる基準の適用を希望する者は、大学が求める語学能力を証明した資料（写）に日本語訳を付して併せて提出すること。

提出数：10通（A4判）

(8) 語学能力証明書

留学先での使用言語が英語以外の者は、上記（7）に加えて、申請締め切り日から過去2ヶ年以内に受験した当該語学能力を証明する語学検定試験の証明書を提出すること。なお、語学検定試験が実施されていない言語による留学を希望する者は、別紙4の書式の語学能力証明書を作成の上、提出すること。留学先での使用言語が複数の場合は、使用言語ごとに別紙4の書式の語学能力証明書を作成し提出すること。

（別紙4：留学先の大学等で講義、演習等に参加するのに必要な当該国の言語の能力についての証明書。（読み、書き、聴き、話す能力について、指導教授等の作成したもの。）

提出数：10通（A4判）

(9) 推薦状 (別紙5)

別紙5の書式による学識経験者2名の推薦書を提出すること。(未開封のまま提出すること。開封されたものは無効)

- 1) 応募者が大学又は大学院在籍者である場合は、2名とも指導教員等大学教員の作成によること。
- 2) 応募者が大学又は大学院に在籍していない場合は、2名中少なくとも1名は指導教員等大学教員の作成によること。

提出数：各正本1通ずつ

(10) 留学希望先大学等からの入学許可書の写し

(注) 取得している場合のみ

提出数：10通(日本語訳を添付すること。)

(11) 健康診断書

様式適宜。ただし、留学先における勉学に耐えられるか否かを必ず記入のこと。国公私立病院、大学附属病院、保健所等で平成17年6月以降に作成されたもの。

提出数：10通

(12) 平成16年中の所得を証明できる書類

- 1) 定職収入を有する場合：源泉徴収票の写し(給与所得者)

確定申告書(控)の写し(給与所得者以外)

※確定申告書(控)の写しに受付印が無い場合は市区町村役場発行の所得証明書も必要

- 2) アルバイト収入の場合：「アルバイト先の収入証明」(アルバイト先が発行したことを証明する印鑑等が付されたもの)及び市区町村役場発行の所得(課税・非課税)証明書
- 3) 配偶者を有する者は、配偶者の平成16年中の所得(ただし、定職収入に限る)を証明する書類をあわせて提出すること。
- 4) 平成16年中の所得がない場合：市町村役場発行の所得証明書

提出数：10通

(13) 留学先の概要

- 1) 学位取得を目的とする者は、留学希望先の大学について、募集案内等で留学希望先が派遣先の正規の高等教育機関であり、「修士」又は「博士」の学位取得が派遣期間内(「修士」2年以内、「博士」3年以内)で可能であることを証明する資料(写)及びその日本語訳を提出すること。

なお、「受入に際して求められている語学能力」「入学までの日程」「学位取得に必要な授業料金額(年度別に記載すること。)(見込み可)

- 2) アジア諸国等において専門の研究を行うことを目的とする者は、留学希望先の大学について、募集案内等で留学希望先の概要に関する資料(写)及びその日本語訳を提出すること。

なお、「受入に際して求められている語学能力」「受入までの日程」を必ず記載すること。

提出数：10通

(14) 返信用封筒 (書類審査結果通知用)

1 通

(長形3号の封筒に郵便番号、住所、氏名を記載し、80円切手を貼付したもの。)

(注) 1 上記出願書類は、いずれも正本は1通、他は写しでよい。

2 上記書類は、1の願書から順次重ねて、1部ずつ左上をホッチキス止めすること。

・願書の正本 (添付資料の正本がすべて綴じてあるもの) 1部

・願書の写し (添付資料の写しがすべて綴じてあるもの) 9部

3 開封無効の証明書等であっても開封して綴じること。(ただし、推薦状については、開封せず、綴じずに封筒のまま提出すること。)

4 出願書類はすべてA4判に統一するか、A4判の大きさに折りたたむこと。

また、証明書等でB5判サイズのもの、A4判用紙に貼付すること。

5 出願書類で日本語以外で作成されたものについては、出願者が作成した日本語訳を添付すること。

6 願書書式等については、文部科学省ホームページに掲載している。

以上

平成17年度「大学教育の国際化推進プログラム(長期海外留学支援)」
成績評価係数 算出計算式

成績評価係数は、応募者の大学等在籍時の成績を3段階（「3.0」、「2.0」、「1.0」）で評価した後に、全取得単位数の評点平均値を算出するものです。

次の1, 2, 3にしたがって、「成績評価係数」を算出してください。

1. 応募者各人が有している成績から、下記の表により「成績評価ポイント」（3.0～1.0）を求めてください。

成績表での評価方法例					
4段階評価		優	良	可	不可
4段階評価		A	B	C	F
4段階評価		100～80点	79～70点	69～60点	59～
5段階評価	100～90点	89～80点	79～70点	69～60点	59～
5段階評価	S	A	B	C	F
5段階評価	A	B	C	D	F
成績評価ポイント	3.0	3.0	2.0	1.0	—

2. 「成績評価係数」は次の計算式で算出します。

$$\frac{(\text{評価ポイント} 3.0 \text{ の単位数} \times 3) + (\text{評価ポイント} 2.0 \text{ の単位数} \times 2) + (\text{評価ポイント} 1.0 \text{ の単位数} \times 1)}{\text{総取得単位数}}$$

=成績評価係数

3. 上記2の計算式にしたがって、下記計算式の空欄を埋め「成績評価係数」を算出して下さい。（小数点以下第3位を四捨五入）

$$\frac{(\text{ポイント} 3.0 \text{ の単位数} : \quad \text{単位} \times 3) + (\text{ポイント} 2.0 \text{ の単位数} : \quad \text{単位} \times 2) + (\text{ポイント} 1.0 \text{ の単位数} : \quad \text{単位} \times 1)}{\text{総取得単位数} : \quad \text{単位}}$$

= (応募者の成績評価係数 : _____ 点)

文部科学大臣殿

(申請者氏名) _____ の語学能力について、下記のとおり証明します。

語学能力証明者：氏 名： _____

連絡先（住所）： _____

連絡先（電話番号）： _____

職 業： _____

(サイン又は押印) _____

語 学 能 力 証 明 書

区 分	読む能力	書く能力	聴く能力	話す能力	学習期間（年）
語					

(コメントすることがあればご記入下さい)

(注) 外国語の能力について、留学先で必要な言語を上記様式により、優、良、可、不可をもって記入すること。

(申請者) 在学する大学院の課程・
専攻・学年次又は勤務先等 _____

氏 名 _____

推薦状

【推薦者の方へ】

下記事項を記入(□にはチェック)の上、封筒に入れ、封印及び封印上に署名されたものを応募者にお渡しください。開封されたものは、受理されません。

【記入事項】

- 1 応募者との関係はどのようなものですか？(複数回答可)
学部の学生として指導 修士課程の学生／研究生として指導
博士課程の学生／研究生として指導 研究室(ゼミ)の学生／研究生ではないが、勉強会などで指導
指導はしていないが、学会等を通じて承知 その他(具体的に：)

- 2 上記1の関係は、どの程度の期間ですか？
4年以上 3年～4年 2年～3年 1年～2年 1年未満

- 3 応募者は、過去あなたが指導した者の中で、どのような人物でしたか？

	最優秀 (TOP1%以内)	特に優れている (TOP5%以内)	優れている (TOP10%以内)	平均以上	平均	平均以下
学業面	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
性格・人格面	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
総合評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

(応募者の資質に関してコメントすべきことがあれば記載願います。)

- 4 何に基づきこの推薦書に記入しましたか？(複数回答可)
応募者との日常関係 過去の成績の記録
他の教員からのコメント その他(その他具体的に：)

- 5 応募者は留学計画書にある目的を達成することが可能ですか？
間違いなく可能 可能 可能であるが努力が必要 可能性は低い

- 6 応募者の留学終了後の活躍は期待できますか？
大いに期待できる かなり期待できる 期待できる 本人次第

- 7 応募者を本制度による派遣留学生として
自信を持って強く推薦する 推薦する 本人の希望を尊重して推薦する

- 8 推薦にあたって、特記することがあれば、ご自由にご記入ください

文部科学大臣殿

上記の通り、
 します。

氏が大学教育の国際化推進プログラム(長期海外留学支援)に採用されることを推薦
 平成 年 月 日

職業： _____
 住所： _____
 連絡先：(TEL) _____
 氏名： _____